

課 題 秋彼岸出荷アスターの品質向上試験

担 当 者 浪花 恵

目 的 直売所において、アスターは 8 月中旬が出荷の中心となっている。その約 1 か月後の 9 月下旬の秋彼岸の時期にも切花需要があり、この時期の出荷が可能である。しかし、アスターの性質上、播種時期が遅くなると草丈が抑えられ、高品質の切花の出荷が難しく、取り組む生産者は少ない。今回、播種日の調整、品種の選定によって、秋彼岸に十分な草丈のあるアスターが出荷できるか調査する。

供試品種 松本クリアスカーレット (サカタのタネ) 中早生
ふじみスカーレット (タキイ種苗) 中生
プリンセス混合(タキイ種苗) 晩生
ラベンダーシャポー(福花園種苗) 中晩生
小輪ポンポンミックス(福花園種苗)
清涼殿(福花園種苗) 晩生

試験区構成 <播種日>
1 区 播種 5 月 29 日 定植 6 月 25 日
2 区 播種 6 月 8 日 定植 7 月 4 日
<元肥量>
1 区 N1.5-P1.5-K1.5 kg/a
2 区 N2.0-P1.5-K1.5 kg/a

区制及び株数 1 区制 1 区 20 株

耕種概要 栽培条件 露地
栽植密度 畝幅 60cm×株間 12cm×条数 4 条 2,800 本/a
施肥量 (全量元肥)
①ジシアン燐硝安加里 S602 9.4kg/a
草木カリ 1.3kg/a
ようりん 3.0kg/a
②ジシアン燐硝安加里 S602 12.5kg/a
ようりん 1.0kg/a
成分量 ①N1.5-P1.5-K1.5 kg/a
②N2.0-P1.5-K1.5 kg/a

結果及び考察

播種日による開花期の違いにおいては、図 1 に示した。平成 30 年の秋の彼岸は、9 月 20 日から 26 日であったことから、2 区の 6 月 8 日播種が適している。しかし、品種によっても開花時期は違いがあり、松本、ふじみは早めの傾向があり、プリンセス混合、ラベンダーシャポー、小輪ポンポンミックス、清涼殿は遅めの傾向であった (図 2)。

萎凋病(連作障害)が多発し、開花したものについても草丈が伸びず(平均 28~47cm)、草丈について十分な結果が得られなかった。連作障害の発生を抑える栽培方法について検討する必要がある。

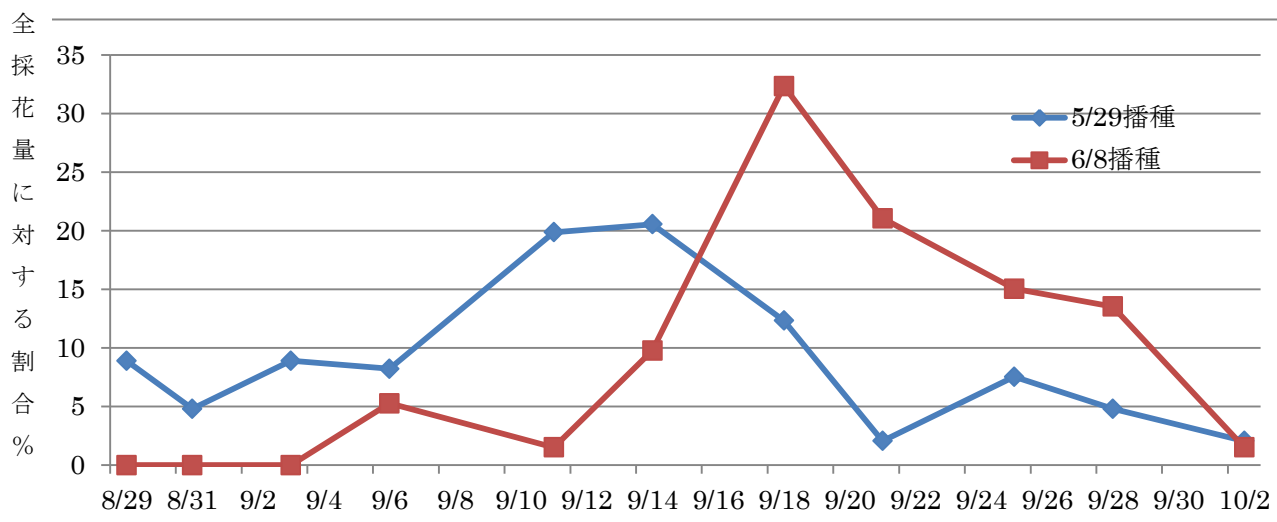


図1 播種時期の違いによる開花期の変化 (6品種合計)

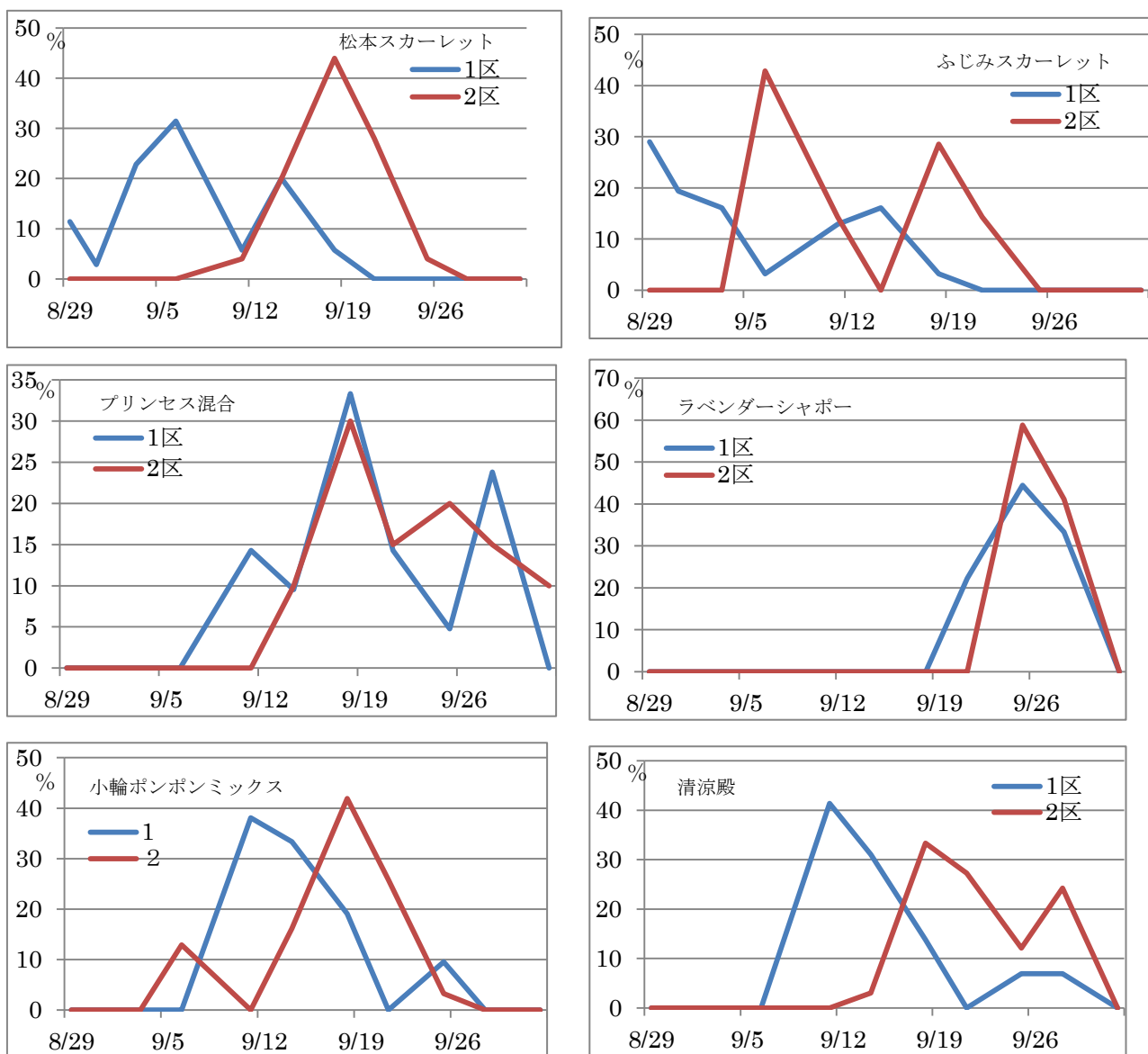


図2 品種ごとの開花期の変化